令和4年度丹波市防災会議会議録

1 日時

令和5年2月8日（水）午後1時57分～午後2時38分

2 場所

本庁舎第1会議室（一部オンライン参加）

3 出席者

会長	林 時彦	委員	日原 基	委員	東浦 実
委員	石松 秀一	委員	作田 良文	委員	藤崎 慎平
委員	片山 則昭	委員	中道 典昭	委員	西垣 毅
委員	野上 壽二	委員	金川 方子	委員	高田 樹一郎
委員	安田 誠	委員	村岡 憲一	委員	東村 善夫
委員	田口 勝彦	委員	十倉 善隆	委員	秋山 登久男
委員	細見 正敏	委員	太田 嘉宏	委員	余田 覚
委員	里 充	委員	内堀 日出男	委員	安達 則子
委員	松本 佐緒里				

4 代理出席

丹波警察署	福井 鉄史
兵庫県トラック協会丹有支部	北野 政弘

5 欠席委員

なし

6 事務局（生活環境部くらしの安全課）

課長	早形 繁	副課長兼防災係長	小畠 克弘
主幹	柴原 洋平	主査	藤井 祐輔

7 傍聴者

4人

8 審査事項

別紙委員会資料のとおり

令和4年度 丹波市防災会議 会議録

日時：令和5年2月8日（水）
午後1時57分～午後2時38分
場所：丹波市役所 第1会議室
一部オンライン開催

開会 午後1時57分

1 開 会

事務局：皆様ご多忙の中、本会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。会議録作成のために本会議につきましては録音させていただいておりますので、ご了承いただきたいと思っております。また、本会議の資料につきましては、事前に郵送等で各委員の皆様へ配布させていただいております。お手元のほう資料ございませんでしょうか。

（各委員、資料を確認する。）

大丈夫なようですので会議を進めさせていただきます。それでは会議次第に従いまして「2 会長あいさつ」として丹波市長からご挨拶申し上げます。

2 会長あいさつ

会長：委員の皆様におかれましては、公私にわたり大変お忙しい中、丹波市防災会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。また、日頃より皆様方には市の防災・減災対策に格別のご協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、令和4年は令和3年に引き続きまして大雨警報の発表、台風の上陸はあったものの幸いにも大きな被害には至らず比較的穏やかな1年となりました。しかしながら、7月3日の大雨では柏原町で時間最大雨量91ミリを記録する猛烈な雨が降り、市の災害警戒態勢を敷く前に河川氾濫や土砂災害の危険性が高まるという事態が起きました。いつ起こるか予測ができない災害に対して事前の防災・減災対策が非常に重要となっている昨今の現状から、市民の皆様の防災意識の向上に引き続き重点を置いていきたいと考えています。この後、事務局より、令和4年度における「大雨等、自然災害の対応状況」、「防災減災等の取組」、また次年度の取組につきまして、ご説明させていただきます。様々な自然災害において市民生活への影響を最小限にするため、委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、引き続き、市の防災体制の充実強化を図っていききたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

3 報告事項

事務局：それでは続きまして「3 報告事項」に入りますが、ここからは丹波市防災

会議運営規程第2条の規程によりまして会長が議事進行を進めることとなります。それではよろしく申し上げます。

議長：それではここからは議長として会議の進行をいたします。

次第3「報告事項」についてでございますが、(1) 令和4年度「大雨等、自然災害の対応状況について」、(2) 令和4年度「防災・減災等の取組について」を事務局から一括して報告させていただきます。

(1) 令和4年度「大雨等、自然災害の対応状況」について

〈資料No.1〉

事務局：「3 報告事項」、(1) 令和4年度「大雨等、自然災害の対応状況」について説明させていただきます。お手元の資料NO.1をお開きください。令和4年4月から12月までの大雨等、自然災害の対応状況について説明させていただきます。概要としまして本年度、本市では局地的な大雨、台風等により、大雨警報（浸水害）が1回、大雨警報（土砂災害）及び土砂災害警戒情報が2回発表されました。9月19日に兵庫県へ最接近した台風第14号の際には、新型コロナウイルス感染症対策を十分講じた上で、市内6カ所の住民センター、またライフピアいちじまを自主避難所として開設し、35世帯46名の方が避難されたところでございます。また、今年度における大雨の特徴といたしまして短時間で局地的に猛烈な雨が降ったため、市の災害警戒態勢を敷く前に河川氾濫や土砂災害の危険性が高まったという状況でありました。このような中で、市として適時適切に避難情報の発令や避難所の開設等ができる態勢を整備していくことが課題として露わとなりました。それでは大きく分けまして3つの大雨、台風が来ておりますので、一つひとつご説明させていただきます。まず、1つ目の7月3日の大雨でございます。台風第4号に回り込む暖かく湿った空気が南海上から次々と流れ込み、大気の状態が非常に不安定となったことで昼前から大雨となりました。瞬く間に大雨警報（土砂災害・浸水害）、洪水警報、土砂災害警戒情報が発表されたことから、災害対策本部を設置し対策を行いました。本当に短い間に警報まで至るという、例年のゲリラ豪雨といいますか、線状降水帯による雨によって災害対策本部を設置しました。大雨警報の土砂災害につきましては、3日11時53分に発表、20時40分に解除、大雨警報の浸水害につきましても、同時刻の11時53分に発表、17時48分に解除。土砂災害警戒情報につきましては、3日11時53分に発表、15時35分に解除。災害対策本部につきましては、3日13時30分に設置し、8月1日に廃止。最大時間雨量としましては、先ほど市長の挨拶にもありました91ミリが柏原町柏原で降りました。最大総雨量は春日町三宝ダムで189ミリが3日5時10分～4日5時00分までの間に降っております。7月3日の大雨の状況ですが、写真に付けております流木の流出でありますとか、市島和知線の土砂流出、竹田川の護岸崩落といった災害が発生しております。それでは、7月9日からの大雨でございます。日本海西部にある北進する低気圧に向かって流れ込む暖かく湿った空気や寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり9日土曜日の夜のはじめ頃から春日町を中心に局地的な大雨が降りました。大雨警報につきましては、

9日20時33分に発表、23時04分解除ということで2時間30分の間発表されていきました。土砂災害警戒情報につきましては、20時40分発表、21時24分解除で約40分の間発表されていきました。災害対策本部につきましては、7月3日からの大雨に係る対応で既に設置しておりましたので、設置済となっております。最大時間雨量は、栗柄ダムで44ミリが9日20時まで降っております。最大総雨量は栗柄ダムで降り始めから10日1時までの間に88ミリが降っております。この時、土砂災害警戒情報については、春日町大路地区を中心に出ておりましたので、春日町大路地区の自治会長に連絡を取りまして現在の状況を確認し、今のところ大丈夫だということのご返事をいただいたというところでございます。

(3)につきましては、台風第14号について記載しております。令和4年9月17日から20日までの間でございます。台風第14号は9月14日に小笠原近海で発生し、鹿児島に上陸した後、19日月曜日21時頃に最も接近しました。丹波市では19日月曜日6時40分に暴風警報が発表されました。その後、神楽地区の一部で土砂災害の危険度が高くなったことから、18時4分に大雨警報が発表されました。大雨警報(土砂災害)の発表時間が先ほど言いました18時4分、翌日の0時58分に解除となりました。災害警戒本部につきましては、19時に設置をいたしました。災害対策本部は22時30分に設置し、21日16時15分に廃止を行いました。自主避難所としまして市内6カ所の住民センターを8時30分から開設し、21日8時に閉鎖しました。避難者数につきましては、35世帯46名でございます。最大時間雨量は23.5ミリ、神楽の郷交流センターで記録したものであります。最大総雨量は124.5ミリで、こちらも神楽の郷交流センターで記録しております。台風第14号はどちらかというと風台風でありまして、雨は沢山降っていたということはありません。ですので、下の写真にあります台風の影響につきましても、母坪浄水場における屋根の一部破損、消防団山南支団詰所の雨樋の一部破損、青垣アフタースクール園庭内で倒木といった被害が出ております。

資料には付けておりませんが、令和4年度の全国的な被害についてご報告をさせていただきます。令和4年には42の道府県で788件の土砂災害が発生しております。8月から9月までの合計、いわゆる出水期においては32道県で524件の土砂災害が発生しております。直近10年の平均を見ますと、平均計数が386件でありますので、524件は例年よりは多く被害が発生しておるという状況であります。また、昨年、令和4年に起こった地震について少し報告をしておきます。令和4年に国内で被害を伴った地震というのは、7回発生しております。ちなみに令和3年も7回発生しております。死者行方不明者を伴った地震につきましては、3月16日に福島県沖で発生した地震、M7.4というのが最大でありました。南海トラフ地震への警戒も課題として多くあるところですが、昨年、被害を伴った地震というのは7回、これが次年度どうなっていくのか分からないところがございますが、地震対策を引き続き行っていきたいと思っております。それでは、この後(2)につきましては、令和4年度の「防災・減災等の取組」

ということでくらしの安全課、関係機関と協力のもと行った事業について説明させていただきますので宜しくお願いいたします。

(2) 令和4年度「防災、減災等の取組」について

〈資料No.2〉

事務局：令和4年度「防災・減災等の取組」について説明させていただきます。お手元資料のNO.2をご覧くださいと思います。それでは、まず令和4年度「防災・減災等の取組」についてです。本年度は総じてコロナウイルス感染症による制限等が若干緩和されたということで、地域の動きであるとか、組織内ではDXの推進ということで、様々な情報収集であるとか情報発信のツールを通じて新たな取組を行った年であると思っております。その中で順番に説明をさせていただきます。「1 職員安否確認サービス「ANPiS」の導入」ということで、こちらは関西電力様が提供されている安否確認システムを導入しました。こちらは職員等のメールアドレスを登録し、職員に今までは災害情報と参集情報を一方向でしかやりとりが出来なかったものを、これを導入することによって、職員からの安否の報告であるとか登庁時間の登録をこちらの方で収集できるツールとなります。これによって双方向でコミュニケーションのやり取りができる職員の防災体制を整えることができました。

続きまして、「2 オンラインGIS「ArcGIS」の導入」についてです。こちらでも新規で行った事業になります。GISというのは地理情報システム、Geographic Information System というのですが、今年度くらしの安全課で新たにオンラインGISを導入しました。こちらを導入することで何ができるようになったかという、各地で災害が起こったところの職員から収集される情報が一元的に地図上に収集できる。またその地図を関係各課と情報共有できる体制を整えることがArcGISで行うことができるようになりました。こちらは昨年5月11日に職員参集訓練で一度訓練を行って、その後7月3日の大雨、9月の台風第14号、1月24日に降った大雪の時に実際、職員の方から積雪情報を報告していただき、それを一元的に地図の方に収集し、その収集結果を道路部局と共有しました。

続きまして、「3 令和4年度に購入した備蓄物品」についてです。こちらは継続事業になりますが、市の非常食の備蓄計画に基づき、7年間の長期保存が可能なパン、みそ汁等を購入しました。こちらは備蓄計画に基づき継続的に次年度以降も行っていく予定としています。

次に「4 協定等の締結」についてです。こちらは2件掲載しておりますが、関西電力送配電株式会社の兵庫支社様と地震、風水害が発生した場合の道路啓開や電気設備等の復旧に係る応急措置の除去等に関する覚書を締結しました。これによって双方の役割分担を明確にするとともに、災害対応を迅速に行うということで覚書を締結しております。(2)につきましても、国の被災者生活再建支援法人公益財団法人都道府県センターと業務に関する委託契約を締結しております。

続きまして「5 避難確保計画の作成勸奨」についてです。平成29年6月の水

防法等の改正によりまして浸水想定区域と土砂災害警戒区域に該当する要配慮者施設で作成が義務付けられているものになります。こちらの計画は昨年度の防災会議の時にもご意見がありましたように、作成があまり芳しい状態ではありませんでした。こちらについては、下の表に載せてあります事業者の方に作成を促すことで今年度実施させていただきました。昨年度の防災会議終了後に 29 団体が作成済みとなっておりますが、一応こちらの下で 93 団体が作成済みとなっております、当初 26.8%の作成率のものが 86.1%まで作成の方が伸びております。こちらについては、未だに未作成の団体がありますので、引き続き作成の勧奨を進めていくということにしております。

続きまして、「6 教育関係機関との防災教育の取組」についてです。次のページにまたがり写真を載せております。こちらは本年度、小中学校、高等学校に対して8校、防災訓練であるとか防災講話を実施させていただいて、延べ936人の児童、生徒の方に防災教育の啓発を行ってきました。昨日は、「ひょうご安全の日（丹波地域のつどい）」で、春日部小学校の児童を対象に様々な体験をしていただいたという防災教育の推進を行ってきました。

続きまして、「7 自主防災組織等防災訓練」についてです。こちらにつきましても写真で見ていただいたようになりますが、令和3年度ですけれども、コロナウイルス感染症の影響で自治会の方の防災訓練にかなり制限がかけられており、当初計画されていた防災訓練が実施されなかったということが多かったのですが、令和4年度からは自治会の方でも積極的に防災訓練が実施された運びとなりました。今年度の実績としましては、34自治会が防災訓練及び防災研修を実施いただき、延べ1,307人が防災訓練、研修等を受けていただいたこととなります。主には防災講話であるとか、初期消火訓練、煙体験であるとかを実施されました。

続きまして、「8 自主防災組織育成助成事業」についてです。こちらは昨年度からの継続事業になります。補助率は8割で上限が4万円の補助ということで、12月末時点で47自治会にご利用いただいております。主な購入物品は写真に載せているようなものになります。こちらも当初計画している予算を順調に使っていただいております。

続きまして、「9 自治協議会防災資機材整備事業」についてです。こちらは現在12自治協議会が実際にこの補助金を利用いただいておりますが、1月に利用されていない自治協議会に対して再度の案内を送らせていただいたり、丹波新聞社様の方から、こういう補助金がありますという啓発をいただいたということで、最近数自治協議会さんから申請が出てきているという状況になっています。

続きまして、「10 親子でつくるマイ避難計画ワークショップ」です。こちらは丹波市が条例を制定しています「心つながり防災の日」のイベントとして、いわゆる災害の経験と記録を継承するためのイベントということで、小学生を対象として昨年度から実施している事業になります。こちらは本年度、兵庫県立大学の減災復興政策研究科の澤田准教授及び大学院生の方にご協力をいただいて、地域の小学生を募集してマイ避難計画を作成するという事業を実施させていただきました。

した。今回、これを実施することによって夏休みの自由研究で発表されたということもあるのですが、その後、出来上がった成果物を提供していただいて、防災研修の際にも掲示をさせていただいている取組となります。こちらについても次年度以降、継続してやっていきたいと考えております。

続きまして「11 コミュニティFM出演による防災・減災関連情報の発信」についてです。こちらは月1回FM805たんばに赴き、防災減災の取組、豪雨災害であるとかを市民に周知を行っています。

続きまして「12 職員対象の防災訓練」です。5月に実施しました職員参集訓練の様子になります。先ほどご紹介しましたArkGISを実際に使用して職員から情報収集を行うという訓練を行いました。この結果、1月以降、スムーズな情報収集が行えているという状態になります。「(2)丹波市職員防災研修」です。こちらにつきましましては、平成30年の西日本豪雨の災害対応から、かなり遠ざかっているということで、職員自体が災害対応をなかなか出来ていなかったことから計画させていただきました。その中で兵庫県立大学減災復興政策研究科より講師の方にお越しいただき近年の自治体の災害対応事例というのを係長以上の災害対応を中心に行う職員を対象に座学研修を行わせていただきました。次のページ、職員の専門的な研修事項もこちらに書いてあるように継続的に行っています。次に「13 家屋被害認定士の養成(市職員)」についてです。今年度も新たに4人に受講していただきました。これによって、現在117人の家屋被害認定士が養成されている状況です。平成26年豪雨災害の時も家屋被害認定士が沢山、丹波市にいたということで、これにより住家の罹災証明の発行がスムーズに進んだということがあります。継続的にこちらの方も受講していただくように促していきたいと思えます。

続きまして、「14 緊急地震速報訓練の実施」についてです。現在、2回緊急地震速報の訓練を実施しました。この下の写真は2回目の訓練の様子になります。シェイクアウト訓練とともに、先ほどご紹介しました関西電力のANPiSを用いて実際に安否確認を行う訓練を同時にやらせていただきました。

続きまして、「15 防災用品の寄贈」についてです。本年度、足立織物株式会社様の方から防災食であるとか非常用おむつの方を寄贈いただきました。今回寄贈いただきましたものに関しては、先ほどご紹介しました春日部小学校の地域のついで児童の方に啓発グッズとしてお配りをさせていただいております。

続きまして「16 防災行政無線(屋外拡声子局)の移設及び新設」についてです。こちらは、春日町歌道谷地内にある市多目的公共用地が公売にかけられることに伴い、そこに建っている防災行政無線の移設が必要となったことから、従来の音達を維持するため、地図に書いてある赤色の用地のところに移設を現在、行っています。

こちらで以上となりますが、先ほど申し上げましたとおり、訓練、研修がコロナの規制が緩和されたということで、更にITツールの活用も考えられることから、これを通じて組織的にも横断的に連携できるような体制を整えていけるように

考えております。以上、事務局からの報告を終わらせていただきます。

議長：説明が終わりました。ご質問はございませんか。

(質問なし)

質問がないようですので、次に次第の4「連絡事項」、(1)令和5年度「防災・減災に係る取組、事業の予定」について事務局より説明させていただきます。

4 連絡事項

(1) 令和5年度「防災・減災に係る取組、事業の予定」について 〈資料No.3〉

事務局：令和5年度「防災・減災に係る取組、事業の予定」について説明させていただきます。先ほど説明いたしました令和4年度の取組について、一つひとつの振り返り、課題等を踏まえた上で次年度も実施していく予定です。その中で沢山予定しておるのですが、主なところをピックアップさせていただいておりますので、そちらの方を説明させていただきます。

次年度の兵庫県・丹波地域合同防災訓練が丹波市をメイン会場として開催されます。前回、平成29年度も丹波地域で開催されましたが、メイン会場は丹波篠山市でした。丹波市におきましては、平成22年に実施しておりますので、13年ぶりにメイン会場としての開催となります。日時につきましては、令和5年9月3日の日曜日に実施をいたします。訓練内容によりまして時間は異なりますが午前中の開始でお昼頃の終了を予定しています。会場につきましては、丹波の森公苑がメイン会場であります。その他、訓練の内容によって柏原住民センター、また他の施設、またサブ会場として丹波篠山市の方で訓練を実施される予定です。内容につきましては、近年、兵庫県では地震災害を想定した訓練でございましたが、丹波市においては平成26年度の豪雨災害を受けたこともございますので、風水害及び土砂災害を想定した訓練を計画していきたいと考えています。写真にありますのは令和4年播磨広域合同防災訓練で、メイン会場は多可郡多可町で実施された様子でございます。続いて、「2 丹波市地域防災計画の修正」です。令和6年度から災害配備に係る初動体制が班を基礎とするグループ配備にあたり、丹波市防災計画の修正を行っていきます。それから、それに伴って「3 災害配備体制の見直しに係る職員訓練及びマニュアル作成」についても随時行っていきます。「4 避難行動要支援者名簿の更新及び個別避難計画の作成」です。先ほど報告をさせていただきました避難確保計画に加えまして大規模な災害が発生した際に高齢者や障がい者の要配慮者のうち、避難を特に必要とする避難行動要支援者の把握に努めて名簿を作成するとともに、個別避難計画の作成に努めていきたいと考えております。各自治会、民生委員さんの協力のもと進めていきたいと思っております。それから5には、「心つながり」防災の日イベントです。「親子でつくろう！わが家の避難計画」を過去2年間実施した中で出席いただいた家族の様子を見させていただくと、改めて家族でそれぞれのご家族の災害リスクを考えていただく大変良い機会でございます。実際に参加いただく方だけでなく、色んなSNS、また防災行政無線といった情報ツールを活用して、それぞれのご家庭でも取り組ん

でいただけるように工夫して、一度、それぞれ防災について考えていただく良い機会にできたらということで来年度も実施させていただきます。6番目には防災備蓄品の購入です。令和4年度に引き続き避難者対策用の非常用圧縮毛布や多種多様な非常食をいざという時のために準備を進めてまいりたいと思います。また、来年度も各自治会、自治協議会で開催される防災訓練につきましても積極的に参加をさせていただいて、それぞれの自治会でいざという時のために共助という部分で被害が発生しないように地域で取り組んでいただくことは地域で取り組んでいただく、行政でできることは行政で頑張るよう連携体制を取っていきたいと思います。昨年、34自治会で実施しておりますが、それを上回る数が実施できたらと思っております。

以上、資料 NO.3 来年度の防災・減災に係る取組、事業の予定についての説明を終わらせていただきます。

議長：説明は終わりました。ご質問はございませんでしょうか。

(質問なし)

それでは、次第の5その他になりますが、委員の皆様から何かあったらお願いします。

(挙手する者あり)

5 その他

委員：この会議初めて参加させていただきまして少し質問をさせていただきたいと思います。災害には小規模から大規模まであるのですが、まず連絡網がどうなっているのか、私さっぱり分からないのです。災害が発生した時点で誰がどこに連絡をして、その連絡を受けたものを誰がよしこれは災害になりそうだということで次の段階へ進んでいくといったことが、どうなっているのか分からない。もしよければそういったところをご説明いただけたらありがたいです。

議長：ありがとうございます。事務局、説明をお願いします。

事務局：そうしましたら、こちらで説明させていただきます。まず、災害が起こる前といえますか例えば台風の接近でありますとか、低気圧の発生によりまして沢山の雨が降るといった時には神戸地方気象台から様々な情報がまいります。そういった中で来るべきといえますか、台風に備えて丹波市役所の方の内部の警戒態勢を整えます。実際に大雨警報が発表されますと、職員が順次参集してまいります。その中で丹波市の警戒本部が立ち上がり、その後、被害が発生してきますと丹波市の災害対策本部を設置します。その中で、順次各6地域の住民センターの避難所等も開設していくところがございます。連絡等につきましては、避難所を開設して、そのとき例えば沢山の方がおられる中で体調を崩されたりとか、ご気分を悪くされる方もいらっしゃるかと思います。そういったときにそれぞれ避難所に職員が配置しております。そういったところから連絡を取らせていただいて避難所に来ていただく。また、それぞれの診療所なり病院の方に緊急搬送するといったことになろうかと思います。実際に沢山の避難者の方が長期にわたって避難されるという場合につきましては、改めて特別の救護所を設置したりとか、今後の細

かな連絡体制につきましては、調整をさせていただきたいと思います。

委員：ありがとうございます。できれば早急に連絡網を作っていただきたい。やはり我々としましては、いち早く小規模なところで医療を提供する。薬剤師会につきましても定期薬の消失とかありますので、それに早急に対応していくと言われていきます。それには心積もりが必要ですし、日頃の関係機関の連絡網を分かりやすく作成いただければと思いますし、もっとご協力できると思いますので。

議長：そうやっていただいておりますので、早急に良い体制を整えていただくようお願いいたします。

他にございませんか。

(意見なし)

ないようですので、以上で丹波市防災会議を閉会といたしたいと思います。委員の皆様、大変お疲れ様でございました。

6 閉 会

閉会 午後 2 時 38 分